

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502298		
法人名	有限会社 優コーポレーション		
事業所名	グループホーム 厚宮館		
所在地	札幌市厚別区厚別西3条1丁目1番30-2号		
自己評価作成日	平成26年12月12日	評価結果市町村受理日	平成27年1月16日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kan=true&JigrosyoCd=0170502298-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成26年12月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日頃より入居者様の健康管理に十分な注意を払うよう心掛けております。
 入居者様の体調に変化が見受けられた際には、速やかに協力医療機関に連絡、相談を行い、必要な治療を受けて頂くことにより、少しでも長く元気で過ごして頂けるようサポートを行っております。
 また町内会は、各種町内会行事に積極的にお誘い下さるだけでなく、入居者様が行事参加の際に暖かく迎えて下さるなど高齢者福祉に対し深いご理解をされており、運営推進会議や自衛消防訓練実施の際にも参加、協力を頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホーム 厚宮館」は、近隣に公園や小学校、遊歩道などがある環境に恵まれた住宅地に立地している。同一法人が経営するグループホームが同じ敷地内にあり、事業所の行事などを通して利用者も交流を深めている。対面式キッチンを備えた居間と食堂が独立した造りで、広々とした空間が確保されている。居間や廊下には、時計や暦を多く掲示して時の見当識にも配慮している。理念を事業所内の要所に掲示する事で各職員が理解を深め、本人の意向を尊重しながら各利用者の残存能力を活かして可能な限り自立した生活が送れるように、全職員で理念を共有して実践につなげている。毎月のユニット会議では、利用者担当職員を中心に、利用者の様子を全職員で確認して介護計画の見直しに活かしている。身体拘束についても、事例に沿ってその都度全職員で適切な対応を検討して、拘束に繋がらないような支援を行っている。排泄面でも自立に向けて取り組んでおり、利用者の状態に合わせて夜間も可能な限りトイレに誘導するなど、多くの利用者が布パンツや布パンツとパットで過ごしている。館長は、職員の意見や提案に耳を傾けて、日頃から現場の意向を取り入れながらケアや運営に活かして利用者が過ごしやすい環境づくりを行っている。

V. サービスの成果に関する項目(1階 アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ユニット内に理念を掲げ、職員間で共有を図るとともに、実践を心がけています。	「地域社会の一員として、積極的に地域活動に参加できるよう支援する」という、地域密着型サービスを意識した内容を事業所理念のひとつに掲げて採用時に説明している。各職員は、要所に掲示している理念を確認しながらケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の行事には、入居者・職員ともに可能な限り積極的に参加し、地域の方々と馴染みの関係を作れるよう努めています。	利用者と一緒に、沿道の花植えや公園の草刈りなどの町内会活動に参加している。また、町内会の運動会などで子供達と触れあっている。近隣の方から、家庭菜園で収穫した野菜を頂くこともある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	御相談があった際には、適切なサービスが利用者につながるよう助言を行って降ります。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	御利用者様に対してのサービスの報告や評価の取り組み状況等は報告しておりませんが、町内会や御家族様から意見や要望を頂くよう努めております。	町内会役員や地域包括支援センター職員、家族代表が参加して、事業所からの報告の他、医療面の困難事例などの相談窓口を設けている病院の情報を、地域包括支援センター職員から得ている。今年の運営推進会議は、4回の開催に留まっている。	会議案内にテーマを記載するなど、参加できない家族の意見収集に繋がるような工夫を期待したい。また、参加者の協力を得ながら定期的に会議が開催されるように期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険の更新手続きなどの事務手続きや生活保護受給者の近況報告、連絡、相談など随時行っております。	館長は、介護保険の更新や生活保護受給者の金銭管理などの相談で市役所の福祉支援課や保護課を訪問している。保護課職員の来訪時には、情報交換をしながら相談することもある。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	禁止の対象となる行為を理解し、玄関の施錠については、防犯や入居者様の安全確保を目的に夜間においてのみ行っているが、身体拘束しないケアの実践に」努めております。	「身体拘束ゼロへの手引き」を全職員に渡して、拘束について勉強会を実施している。転倒防止対策としてベッド柵に頼ることなく、床にマットを敷くなど工夫して拘束に繋がらないように対応をしている。「禁止の対象となる具体的な行為」について毎年勉強会を行い、理解を深めていきたいと考えている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的または、言葉による虐待は行っておりません。身体面では、傷・アザ等の観察を行い、発見時には図入りで記録に残し事故か虐待かを見極め防止に努めるとともに、スタッフ会議や日々の申し送りで職員間で情報の共有を図っております。		

グループホーム 厚宮館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見人制度について、学ぶ機会をもてておりませんが、近日、スタッフ会議において学習会を設けて学習を予定しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約の際や介護報酬改定の都度説明を行い、理解・納得を得られるように努めております。また、御家族様より疑問、不安等の相談があった場合には、理解を頂けるよう出来るだけ丁寧な説明を心掛けております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や運営推進会議などでご意見・ご要望の収集に努めており、御家族より不満・苦情があった際には、介護職員全員で会議を設けて対応策の検討を行い、改善するように努めています。	家族の来訪時に、利用者の近況を報告しながら意見や要望を聴き取るように配慮している。意見や要望があれば口頭で伝えて情報を共有しているが、些細な事を記録するまでには至っていない。	利用者毎に、家族からの言葉や職員の気付きを記録に残すなど、全職員で更に情報を共有できるような工夫を期待したい。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、日々の申し送りや月例のスタッフ会議等、随時職員の意見や提案を聞いております。	会議のテーマに沿って、ユニットリーダーが職員から事前に意見を聞いている。職員からの提案で、効率的な記録方法を検討して書式を変更することもある。館長は、夜勤職員と話しをしたり、個人面談を行いながら職員の意見を反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員は普段、代表者と接する機会がほとんどありません。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修・講習を段階に応じて行っており、研修案内等は職員が閲覧できるようにしております。参加希望者に対しては、参加できるようシフト調整など業務面での支援を行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、地域の同業者との交流や勉強会の機会を持つべく、活動しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用の開始段階で御利用者様の訴えを傾聴し、本人の信頼関係を「築くことが出来るよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族様の相談には機会を作って伺い、受け止める努力をしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者、職員間でカンファレンスを設け必要としている支援の見極めに努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	御利用者様の気持ちや立場を良く理解し、支え合う関係づくりに努力しています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族様との信頼関係を増築できるよう、御家族とのコミュニケーションを大切にしよう努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御利用者様が大切にしてきた人や場所との関係が途切れないよう、本人から要望があった際には可能な限り家族や友人などへの連絡などの支援を行っております。	利用者の友人を連れて家族が来訪したり、自宅に外泊した機会に、近隣の友人と交流している方もいる。職員と買い物や外食に出かけたり、家族と一緒に墓参りや法事、理美容室などに出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	御利用者様同士の関係を把握し共通して楽しめる行事や話題づくりを支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了に際しても、引き続き御家族様が気軽にホームに立ち寄れる関係の維持に努めております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	御利用者様との会話を通じて、一人ひとりの思いや暮らし方の希望や意向の把握に努めております。	入浴時など、個別で対応する時にゆっくり話をしたり、日頃の会話の中から希望や意向を聞き取っている。今後は、カンファレンス用紙を利用して新しい情報を定期的に蓄積して行きたいと考えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に御家族様から頂いた情報を職員で共有し、生活環境の把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活の支援を通して一人ひとりの一日の過ごし方、有する力の把握に努め、各入居者の支援に役立てております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御利用者様の立場にたち、御本人・御家族様の要望、意見を取り入れスタッフ会議で各職員が課題について意見を出し合い、介護計画を立案しております。	利用者担当職員と計画作成担当者を中心に、全職員で検討して3か月毎に介護計画を見直している。家族の意向は、来訪時や原案に手紙を添えて郵送で確認している。今後は介護計画を意識しながら、日々の記録を充実させたいと考えている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や介護の実践は個別記録に記載し、職員間で情報を共有して、カンファレンスにて介護計画の見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関への通院や定期的な看護師の訪問、訪問理美容など、個々の要望に応じて支援を行っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	警察や消防とは協力体制を取っており、民生委員や地域の方には、運営推進会議を通して協力を頂いております。また季節行事への参加協力をいただくこともあります。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関以外の医療機関への通院など、御本人及び御家族などの希望を大切に、適切な医療を受け入れられるよう支援に努めております。	協力医療機関の医師による2週間毎の往診の他、看護師が毎週来訪して各利用者の健康維持に努めている。家族が受診支援する時は、口頭で日頃の健康状態を伝えている。受診記録は個別に記録して、健康状態を把握している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関の看護師による週一回の訪問の他、24時間いつでも相談、支援を受けられる体制が、整っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	御利用者様が入院した際、病院関係者との情報交換や相談に努め、関係づくりを行っております。また、入院中は、可能な限り管理者が面会しております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末のあり方について、御本人、御家族様等と話し合いを行い、必要に応じて主治医との話し合いの場を設けて対応するよう、入居契約の際に御家族様に説明しております。	「入居者様の病状が重度化した場合の医療体制指針」を作成して、利用開始時に説明している。主治医の判断の下、可能な限り家族の意向に沿った対応を考えているが、常時医療行為が必要になった場合などは対応が難しいことを伝えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	管理者、職員は応急手当の訓練や初期対応に関して定期的に確認を行い対応できるようにしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署、地域の消防団、近隣住民の協力を得て年2回、夜間想定での自衛消防訓練を実施するよう努めております。今年度2回目の訓練については予定がおくれておりますが、近日実施を予定しております。また、運営推進会議を通して助言、協力を頂くよう努めております。	消防署の協力の下、ダミー人形なども使用して5月に日中想定火災避難訓練を実施している。1月には、地域住民にも参加を依頼して夜間想定避難訓練を予定している。災害備蓄品を整備し、水害時の対応についても職員間で確認している。	水害にとどまらず、地震を想定したケア別の対応についても職員間で再確認するように期待したい。職員の救急救命訓練の受講も、計画的に進めるように期待したい。
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いや接し方、接遇の基本をわきまえながら、状況に応じて、親しみある言葉掛けで対応するよう心掛けております。	勉強会で気になる言葉遣いや対応を職員間で出し合い、内容を職員更衣室に掲示している。家族の了解を得て、利用者が気に入っている愛称で呼ぶこともある。記録類は適切に管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御利用者様の状況を把握し、自分らしく生活できるよう支援に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	御利用者様の生活のスペースを把握し、個々の満足が得られるように努めております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自己決定できる方は、それを尊重し、そうでない方には、その人らしいおしゃれができるよう支援しています。		

グループホーム 厚宮館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の入居者様にあった作業を職員と一緒にを行うよう努めております。	食材委託業者の献立で食事を作っている。月1～2回は献立を中止してラーメン、すき焼き、寄せ鍋、ジンギスカンなどの料理を楽しんでいる。誕生日には希望の料理を作り、ケーキ作りに利用者が参加することもある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量を記録し、一日の摂取量の把握に努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、御利用者様の自立度に合わせ見守り、または介助にて口腔ケアを行い、口腔内の状態の把握に努めております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を活用し、個々の排泄パターンの把握に努め、可能な限りトイレで排泄をして頂けるよう支援を行っております。	半数ほどの方は自分で排泄ができ、布パンツや布パンツとパットで過ごしている。利用者の状態に合わせて夜間も可能な限りトイレに誘導している。声かけや誘導には、トイレや排泄の直接的な言葉を使わないように注意して行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表で管理し、個々の便秘の原因を理解し、予防に取り組んでおります。また必要に応じて医師に指示をいただき対応しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴表を活用し、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、個々にあった支援を心掛けております。	午後の時間帯に週2回の入浴を支援し、体調が良くない時は清拭で対応している。身体の状態を見て2人介助で湯船にゆったり入れるように支援している。入浴剤や季節のゆず湯を楽しんだり、入浴中は会話をして日々の思いを聴いている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調や状況を考慮し、適時休息をとっていただいております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報は常に、職員が閲覧できる場所に整理整頓されており、薬の出し入れ、入居者様への手渡し、服用の際に職員が三度チェックを行い、誤薬が起きないように徹底しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴を考慮しながら、得手不得手を把握し料理、園芸など各入居者様に合った作業を職員と一緒にしています。		

グループホーム 厚宮館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(1階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの希望に沿うことはできませんが、可能な範囲で個別の買い物に付き添ったり、御家族様の協力により外出、外泊に連れ出していただけるよう支援しております。	週に2～3回は主に遊歩道を散歩し、その時の気分や身体状況に合わせて外気に触れている。道の駅の紅葉見物に出かけたり、冬季には雪まつりを車窓から見学している。大型商業施設で買い物を楽しみ、ラーメンや丼物などの外食をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ほとんどの御利用者様は、お金の管理はできませんが、御本人がお金を持つ事の大切さを考慮し、御家族様と職員が協力しお金を所持、使う事を支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御利用者様の希望があれば、手紙や電話はできるようにしております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	絵画や植物、御利用者様が製作した作品などを置いたり、季節行事の写真の掲示や季節に応じた飾り付けを行うなど心地良く過ごしていただけるよう工夫をしております。	居間は団欒が楽しめるようにソファの配置を工夫したり、畳敷きコーナーを活用している。居間から見えない場所にトイレや浴室があり、プライバシーにも適した造りになっている。時計や暦を多く掲示し、時の見当識に工夫している。加湿器を多く設置して湿度の調整も行われている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの配置を工夫し御利用者様が思い思いに過ごせる場所を確保しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際、入居者様が自宅で使い慣れ親しんだ家具や食器を持ってきて頂けるように、御家族様に説明してご協力をお願いしております。	居室には使い慣れた家具類や小物類、また馴染んだ昔の時計、鏡台などが持ち込まれている。造花装飾、家族の写真、職員手づくりの額縁や誕生日カードなどが飾っており、利用者の意向と個性を活かした温かな居室づくりになっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリーとし、入居者様が安全かつ、できるだけ自立した生活が送れるよう工夫しております。		

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170502298		
法人名	有限会社 優コーポレーション		
事業所名	グループホーム 厚宮館		
所在地	札幌市厚別区厚別西3条1丁目1番30-2号		
自己評価作成日	平成26年12月12日	評価結果市町村受理日	平成27年1月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「1階 ユニット」に同じ

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kan=true&JigrosyoCd=0170502298-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成26年12月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(2階 アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えています (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ユニット内に理念を掲げ、職員間で共有を図るとともに、実践を心がけています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の行事には、入居者・職員ともに可能な限り積極的に参加し、地域の方々と馴染みの関係を作れるよう努めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	御相談があった際には、適切なサービスが利用者につながるよう助言を行って降ります。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	御利用者様に対してのサービスの報告や評価の取り組み状況等は報告しておりませんが、町内会や御家族様から意見や要望を頂くよう努めております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	介護保険の更新手続きなどの事務手続きや生活保護受給者の近況報告、連絡、相談など随時行っております。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	禁止の対象となる行為を理解し、玄関の施錠については、防犯や入居者様の安全確保を目的に夜間においてのみ行っているが、身体拘束しないケアの実践に努めております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体的または、言葉による虐待は行っておりません。身体面では、傷・アザ等の観察を行い、発見時には図入りで記録に残し事故か虐待かを見極め防止に努めるとともに、職員間で情報の共有を図っております。		

グループホーム 厚宮館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性に関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見人制度について、スタッフ会議において学習会を設けて学習しております。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約時や問合せ戴いた都度説明し、理解・納得を得られるように努めております。また、御家族様より疑問、不安等の相談が場合には理解して頂けるよう出来るだけ丁寧な説明を心掛けております。			
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や運営推進会議などご意見・ご要望の収集に努めており、御家族より不満・苦情があった際には、介護職員全員で会議を設けて対応策の検討を行い、改善するように努めています。			
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、日々の申し送りや月例のスタッフ会議等、随時職員の意見や提案を聞いております。			
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員は普段、代表者と接する機会がほとんどありません。			
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修・講習を段階に応じて行っており、研修案内等は職員が閲覧できるようにしております。参加希望者に対しては、参加できるようシフト調整など業務面での支援を行っております。			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は、地域の同業者との交流や勉強会の機会を持つべく、活動しております。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用の開始段階で御利用者様の訴えを傾聴し、本人の信頼関係を「築くことが出来るよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族様の相談には機会を作って伺い、受け止める努力をしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者、職員間でカンファレンスを設け必要としている支援の見極めに努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	御利用者様の気持ちや立場を良く理解し、支え合う関係づくりに努力しています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族様との信頼関係を増築できるよう、御家族とのコミュニケーションを大切にしよう努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御利用者様が大切にしてきた人や場所との関係が途切れないよう、本人から要望があった際には可能な限り家族や友人などへの連絡などの支援を行っております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	御利用者様同士の関係を把握し共通して楽しめる行事や話題づくりを支援しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了に際しても、引き続き御家族様が気軽にホームに立ち寄れる関係の維持に努めております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	御利用者様との会話を通じて、一人ひとりの思いや暮らし方の希望や意向の把握に努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に御家族様から頂いた情報を職員で共有し、生活環境の把握に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活支援を通して一人ひとりの一日の過ごし方、有する力の把握に努め、各入居者の支援に役立てております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御利用者様の立場にたち、御本人・御家族様の要望、意見を取り入れスタッフ会議で各職員、課題について意見を出し合い、介護計画を立案しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や介護の実践は個別記録に記載し、職員間で情報を共有して、カンファレンスにて介護計画の見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関への通院や定期的な看護師の訪問、訪問理美容など、個々の要望に応じて支援を行っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	警察や消防とは協力体制を取っており、民生委員や地域の方には、運営推進会議を通して協力を頂いております。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	協力医療機関以外の医療機関への通院など、御本人及び御家族などの希望を大切に、適切な医療を受け入れられるよう支援に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関の看護師による週一回の訪問の他、24時間いつでも相談、支援を受けられる体制が、整っております。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	御利用者様が入院した際、病院関係者との情報交換や相談に努め、関係づくりを行っております。また、入院中は、可能な限り管理者が面会しております。			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末のあり方について、御本人、御家族様等と話し合いを行い、必要に応じて主治医との話し合いの場を設けて対応するよう、入居契約の際に御家族様に説明しております。			
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	管理者、職員は応急手当の訓練や初期対応に関して定期的に確認を行い対応できるようにしています。			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署、地域の消防団、近隣住民の協力を得て年2回、夜間想定での自衛消防訓練を実施しております。今年度の2回目の訓練については実施が遅れておりますが、近日行う予定です。また、運営推進会議を通して助言、協力を頂くよう努めております。			
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉遣いや接し方、接遇の基本をわきまえながら、状況に応じて、親しみある言葉掛けで対応するよう心掛けております。			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御利用者様の状況を把握し、自分らしく生活できるよう支援に努めています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	御利用者様の生活のスペースを把握し、個々の満足が得られるように努めております。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自己決定できる方は、それを尊重し、そうでない方には、その人らしいおしゃれができるよう支援しています。			

グループホーム 厚宮館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の入居者様にあった作業を職員と一緒に行うよう努めております。			
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量を記録し、一日の摂取量の把握に努めております。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、御利用者様の自立度に合わせ見守り、または介助にて口腔ケアを行い、口腔内の状態の把握に努めております。			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を活用し、個々の排泄パターンの把握に努め、可能な限りトイレで排泄をして頂けるよう支援を行っております。			
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表で管理し、個々の便秘の原因を理解し、予防に取り組んでおります。また必要に応じて医師に指示をいただき対応しております。			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴表を活用し、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、個々にあった支援を心掛けております。			
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調や状況を考慮し、適時休息をとっていただいております。			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報は常に、職員が閲覧できる場所に整理整頓されており、薬の出し入れ、入居者様への手渡し、服用の際に職員が三度チェックを行い、誤薬が起きないように徹底しております。			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴を考慮しながら、得手不得手を把握し料理、園芸など各入居者様に合った作業を職員と一緒にを行っています。			

グループホーム 厚宮館

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)		外部評価	
			実施状況		実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一人ひとりの希望に沿うことはできませんが、可能な範囲で個別の買い物に付き添ったり、御家族様の協力により外出、外泊に連れ出していただけるよう支援しております。			
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ほとんどの御利用者様は、お金の管理はできませんが、御本人がお金を持つ事の大切さを考慮し、御家族様と職員が協力しお金を所持、使う事を支援しています。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御利用者様の希望があれば、手紙や電話はできるようにしております。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	絵画や植物、御利用者様が製作した作品などを置いたり、季節に応じた飾り付けを行うなど心地良く過ごしていただけるよう工夫しております。			
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの配置を工夫し御利用者様が思い思いに過ごせる場所を確保しています。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際、入居者様が自宅で使い慣れ親しんだ家具や食器を持ってきて頂けるように、御家族様に説明してご協力をお願いしております。			
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリーとし、入居者様が安全かつ、できるだけ自立した生活が送れるよう工夫しております。			

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	町内会役員や地域包括支援センター職員、家族代表が参加して、事業所からの報告の他、医療面の困難事例などの相談窓口を設けている病院の情報を地域包括支援センター職員から得ているが、今年の運営推進会議は4回の開催に留まっている。	参加者の協力を得ながら運営推進会議の定期的な開催を図る。	運営推進会議の年間スケジュールを立てると共に、各会議のテーマを決めて会議案内に記載し、参加者及び参加困難な家族からの意見を収集し、定期的な開催を図る。	1年
2	10	家族の来訪時に利用者の近況を報告しながら意見や要望を聞き取るよう配慮している。意見や要望があれば口頭で伝えて情報を共有しているが、些細なことを記録するまでに至っていない。	利用者家族の意見、要望を汲み取るとともに、職員間で情報を共有し、サービスの向上を図る。	利用者毎に家族からの些細な言葉や行動について、職員が気付いたことを記録に残し、要望を汲み取る工夫をするとともに、全職員でその情報を共有できるようにする。	1年
3	35	消防署の協力のもと、火災避難訓練を実施、災害備蓄品を整備し水害時の対応についても職員間で確認しているが、地震の際の対応について再確認が必要。また、職員の救命救急訓練を実施できていない。	災害発生時の対応について職員間で再確認を行うとともに、職員の救急救命訓練を計画的に進める。	1、火災、水害の他、地震発生時の対応について、スタッフ会議などで定期的に確認を行う。 2、職員の救急救命訓練の実施についてグループ内の各介護従業者事業所と連携して進めていく。	1年
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。